

平成26年度「糖尿病予防対策関係者研修会」実施要項

1. 目的

県民の40～74歳の約4人に1人が糖尿病予備群または有病者という状況の中、糖尿病の発症、重症化、合併症を予防するためには、多機関、多職種連携による切れ目のない保健医療サービスを推進していく必要があります。また、子どもの頃や若い頃からの健康づくりに関わる者がそれぞれの場において、本県における糖尿病予防対策の取組みや現状等を知り、多職種・多機関連携により対策を推進することで、より質の高い効果が達成できるものと考えられます。

関係者が、各々の役割や連携の重要性を認識し、糖尿病有病者等の減少、医療費適正化対策等に活かすことができるよう本研修会を開催します。

2. 主催者：熊本県健康福祉部健康局健康づくり推進課

3. 対象者：市町村、保健所、医療保険者、健診機関、糖尿病教育ネットワーク KUMAMOTO、熊本県糖尿病協会、熊本県糖尿病療養士会、学校関係者等県民の健康づくりに携わる関係者

4. 日時：平成27年2月9日（月） 13：20～16：30

5. 場所：熊本県庁地下大会議室

熊本市中央区水前寺6丁目18番1号 TEL：096-333-2208

6. プログラム

13：20～ 開会（受付 13：00から）

13：30～ テーマ：糖尿病対策のために多職種・多機関、皆で手をつなごう！
（ライフステージや健康レベルに合わせた切れ目のない住民サービスのために）

【講演】演題「糖尿病予防と治療の最前線」

講師 熊本大学大学院生命科学研究部 代謝内科学教授 荒木栄一氏

演題「NPOブルーサークル2050の推進したい熊本県における糖尿病対策」

講師 熊本大学医学部附属病院 代謝・内分泌内科 助教（医局長兼任） 本島寛之氏

演題「How to “糖尿病熊友パス” —活用するために—」

講師 熊本大学医学部附属病院 代謝・内分泌内科 特任助教 久木留大介氏

14：50～ 休憩

「笑顔で 歌って踊って さあ予防 ～高血糖予防啓発ソング・ダンス～」DVD 視聴
制作：御船保健所

15：00～ 事例報告

コーディネーター：熊本大学大学院生命科学研究部 代謝内科学教授 荒木栄一氏

事例報告①「多職種・多機関連携の取組み」（阿蘇保健所 田中智子）

事例報告②「医療機関と市町の連携の取組み」（菊池保健所 坂井希三子）

～『菊池版 連絡（受付）台帳』を活用した取組み～

事例報告③「これからの将来を担う子どもたちの健康づくりをめざして」〔仮称〕

～地域・保護者との連携を通して～（熊本市立城北小学校 福富敦子氏）

事例報告④「栄養ケアステーションの取組み」〔仮称〕（公益社団法人 県栄養士会）

16：00～ 質疑応答

16：20～ コメント

熊本大学大学院生命科学研究部 代謝内科学教授 荒木栄一氏

16：30～ アンケート記入、閉会

【平成26年度糖尿病予防対策関係者研修会出席申込書】

FAX送信先:熊本県健康づくり推進課 企画・がん対策班 吉村宛

(FAX番号:096-383-0498)

所属	職種	氏名



すこやか生活習慣くまもと県民運動
キャラクター ASO坊健太くん

(送信者)

平成 年 月 日

(所属)

(氏名)

1月28日(水)までに当課までFAXにて提出していただきますようお願いいたします。